第 2 章　もっと使える便利な機能

■　ここで説明すること

AirStation の設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

2.1 通信環境を設定する

■ 他のパソコンと通信をする

以下の手順で他のパソコンとのネットワーク環境を構築することができます。ここでは、Windows98 での手順を説明します。

メモ　以下の手順をおこなう前に、別冊『インターネットスタートガイド』を参照して、インターネットに接続できることを確認してください。

ネットワークの設定

1　［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2　［コントロールパネル］内の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

Windows Me/98 をお使いの場合は、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

4

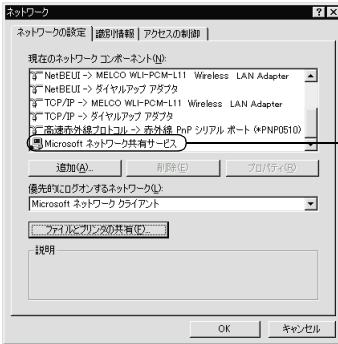
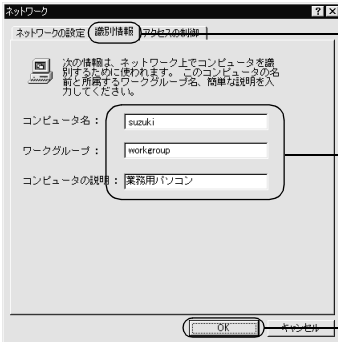
1 クリック　**［ファイルを共有できるようにする］および［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックして ON にします。**

2 クリック　**［OK］をクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

5

［Microsoft ネットワーク共有サービス］が追加されます。

6

［識別情報］タブ（Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ）をクリックします。

［コンピュータ名］、［ワークグループ］、および［コンピュータの説明］を確認します。

［OK］をクリックします。

［コンピュータ名］と［ワークグループ］には、半角英数字を入力することを推奨します。

⚠注意　**一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できない場合があります。**

⚠注意　**ワークグループ名は、ネットワークで接続するすべてのパソコンに、同じ名前を設定してください。**

▶参照　**［コンピュータ名］、［ワークグループ］および［コンピュータの説明］の詳細説明については、「第 4 章　ネットワーク用語解説」の「Windows Me/98 の画面」（P124）または「Windows95 の画面」（P125）を参照してください。**

7　**「今すぐ再起動しますか？」と表示されます。**
［はい］をクリックします。

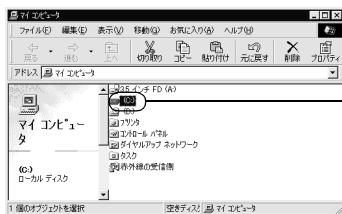
パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。

ここでは、［マイコンピュータ］の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1　**デスクトップ上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

2

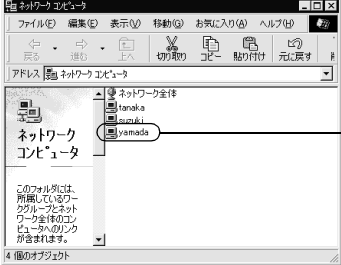
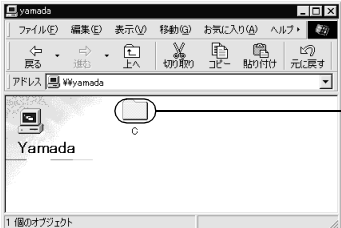
1 クリック　**C ドライブのアイコンを、マウスの右ボタンでクリックします。メニューから［共有］を選択します。**

3

1 クリック　**［共有する］のオプションボタンをクリックします。**

2 確認 2 入力　**「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更します。**

3 クリック　**［OK］をクリックします。**

▶参照　**「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、「第 4 章　ネットワーク用語解説」の「Windows Me/98/95 の画面」（P123）を参照してください。**

4　**C ドライブのアイコンが、以下のように変わります。**

他のパソコンとの通信

他のパソコンとの通信ネットワークへの接続確認が完了したら、他のパソコン（無線 LAN パソコン、または有線 LAN 上のネットワークのパソコン）と実際に通信してみましょう。

ここでは、Windows98 の画面を用いて説明します。

1　**デスクトップ上の［ネットワーク　コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**
接続されているパソコンが表示されます。

2

通信したいパソコンをダブルクリックします。

通信したいパソコンが表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「有線 LAN 上のパソコンと接続できない」を参照してください。

3

「パソコンの共有設定」（P64）で設定されたドライブが表示されます。
通信したいドライブをダブルクリックします。

4

ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。

以上で、無線 LAN カードを装着したパソコンから、無線 LAN または有線 LAN 上のパソコンへの接続が完了しました。無線 LAN と有線 LAN を使用した、快適な環境でパソコンをお使いいただけます。

■　AirStation の設定画面を表示する

AirStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1　**お使いの** Windows **に応じて以下を参照して、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。**

Windows Me の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　Windows Me 編」の「Step 3 設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

Windows98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　Windows98/95 編」の「Step 3 設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　Windows2000/NT4.0 編」の「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

お使いの Windows **を確認する場合は、別冊『インターネットスタートガイド』の「**1.1 **あらかじめ確認してください」を参照してください。**

2　**［スタート］－［プログラム］－［**MELCO　AirStation**］－［エアステーションマネージャ］を選択します。**

3　**［ファイル］－［接続］を選択します。**

有線 LAN 上のパソコンをお使いの場合は、［編集］－［エアステーション検索］をおこなったあと、手順 **6** へ進みます。

⇒ 次ページへ続く

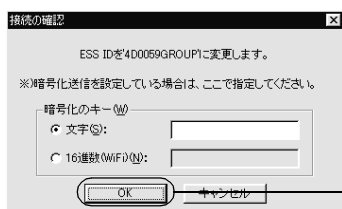
4

以下の値を入力します。
MAC アドレス：
AirStation **の** MAC **アドレスの下 6 桁の値**
グループ名：
「GROUP（大文字）」

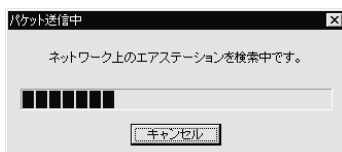
［OK］をクリックします。

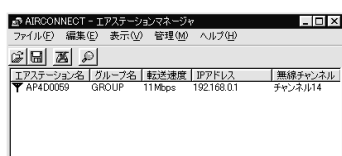
ESS-ID を直接入力する場合は、「ESS-ID の入力」をチェックして、ESS-ID を入力します。

▶参照 MAC **アドレスは** AirStation **本体に貼り付けられているシールに記載されている** 12 **桁の値です。**AirStation **の** MAC **アドレスについては、「各部の名称とはたらき」（**P7**）を参照してください。**

5

［OK］をクリックします。

WEP による暗号化の設定をしているときは、「暗号化キー」にパスワードを入力してください。
WEP（暗号化）機能については「WEP（暗号化）機能でセキュリティを強化する」（P82）を参照してください。

6

AirStation **の検索が始まります。**

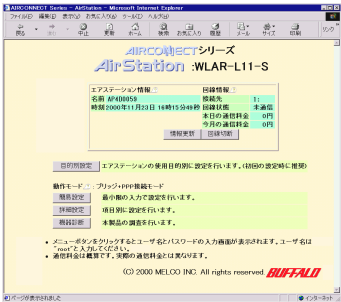
7

AirStation **が表示されます。**

8

検索された AirStation **を選択します。**

［管理］－［エアステーション設定］を選択します。

⇒ 次ページへ続く

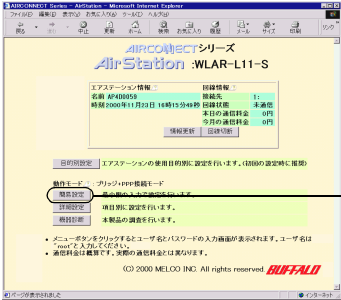
9

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」を参照して、WEB ブラウザの設定を確認してください。

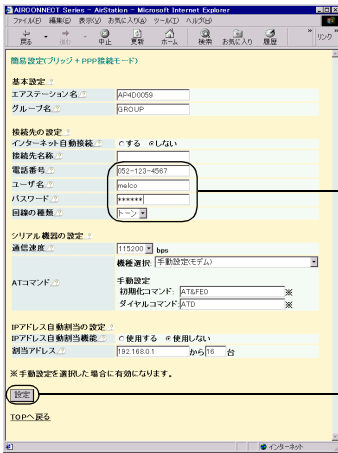
■　プロバイダの接続先設定を変更する

プロバイダのアクセスポイントなどの接続先の変更は、以下の手順でおこないます。

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

［簡易設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

3

1 入力　「電話番号」「ユーザ名」「パスワード」欄に新しい設定を入力します。

2 クリック　［設定］をクリックします。

■　プロバイダと MP 接続する

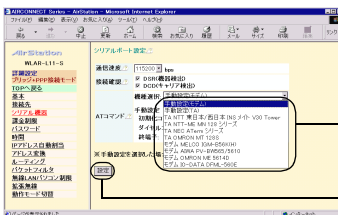
インターネットプロバイダが MP 接続に対応している場合、AirStation を使って MP 通信ができます。

⚠注意　**MP 接続したときは、電話料金が 2 チャンネル分かかりますのでご注意ください。**

メモ　**一般電話回線（アナログ）をお使いの場合、この設定は無効になります。**

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2　**設定画面から［詳細設定］－［シリアルポート］を選択し、「シリアルポート設定」画面を表示します。**

3

「機種選択」欄で、いずれかの TA を選択します。（手動設定 (TA) は除く）

［設定］をクリックします。

手動設定（TA）を選択した場合は、「初期化コマンド」「ダイヤルコマンド」の入力が必要です。

⇒ 次ページへ続く

初期化コマンドとして入力するのは、以下の AT コマンドです。

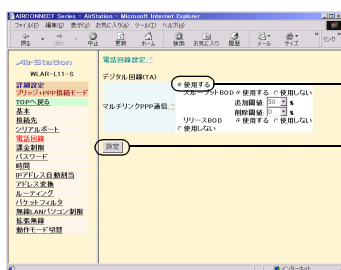
1. **エコーバック OFF（例：E0）**
2. **CD 信号の制御－通信時は常に ON（例：&C1）**
3. **ER 信号の制御－パソコン（AirStation）の通信信号に従う（例：&D2）**
4. **リザルトコードを返す（例：Q0）**
5. **リザルトコードを英数文字で返す（例：V1）**
6. **リザルトコードセット－拡張コードセット**

※ MP 接続するための「初期化コマンド」や「ダイヤルコマンド」については、お使いの TA のマニュアルを参照するか、TA のメーカに確認してください。

4　**「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックすると、AirStation の設定画面に戻ります。**

5　**設定画面から [詳細設定] － [電話回線] を選択し、「電話回線設定」画面を表示します。**

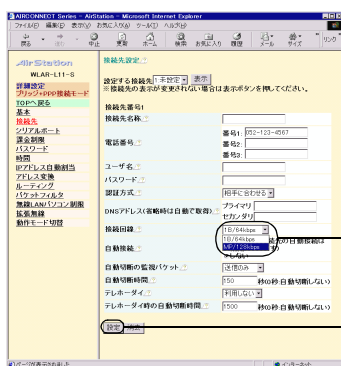
6

「マルチリンク PPP 通信」欄で「使用する」を選択します。

[設定] をクリックします。

7　**「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。**

8　**設定画面から [詳細設定] － [接続先] を選択し、「接続先設定」画面を表示します。**

9

「接続回線」欄を「MP/128kbps」に設定します。
「MP/128kbps」：
常に 2 チャンネル使います。

[設定] をクリックします。

10　**「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。**

■　ローミング機能を使う

ローミング機能を使用すると、部屋から部屋への移動の際、AirStation の接続設定をする手間なく、自動的に複数の AirStation を切り換えることができます。

ローミング機能の設定は、以下の手順でおこないます。

⚠注意　**ローミング機能の設定は、必ず有線 LAN 上のパソコンからおこなってください。無線 LAN パソコンから設定すると、AirStation に接続できなくなります。この場合は、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」「無線 LAN パソコンから設定後、AirStation に接続できなくなった」を参照してください。**

メモ

- **AirStation とローミングが可能な他社製無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。**
- **ローミング機能を有効にしているときは、無線チャンネルが異なっていてもローミング可能です。**
- **WEP 機能を使用するときは、ローミングをおこなうすべての AirStation と、アクセスポイントの WEP を同じ設定にしてください。**

AirStation の設定

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

2　もっと使える便利な機能

3

1 入力 以下の設定をおこないます。

《AirStation 同士でローミングをする場合》

グループ名：

無線ローミングをおこなう AirStation すべてに、同じグループ名を入力します。

ESS-ID：

「グループ名、MAC アドレス、無線ローミング設定から生成」を選択します。

無線ローミング：

「使用する」をチェックします。

《他社製アクセスポイントとローミングをする場合》

ESS-ID：

「値を入力」を選択して、他社製アクセスポイントと同じ ESS-ID を入力します。

グループ名：

設定は無効となります。

無線ローミング：

設定は無効となります。

2 クリック ［設定］をクリックします。

4 以後は画面の指示に従ってください。

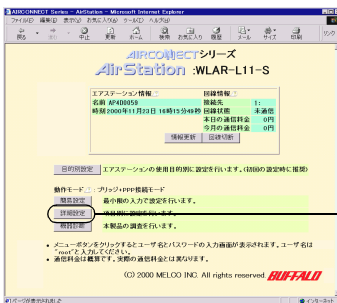
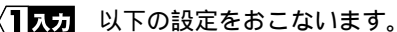
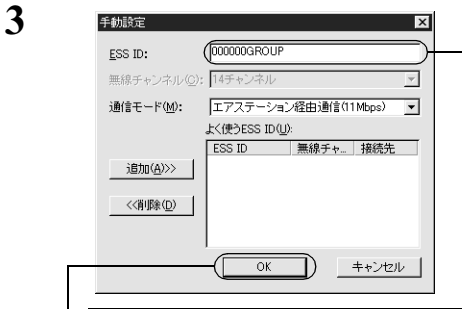
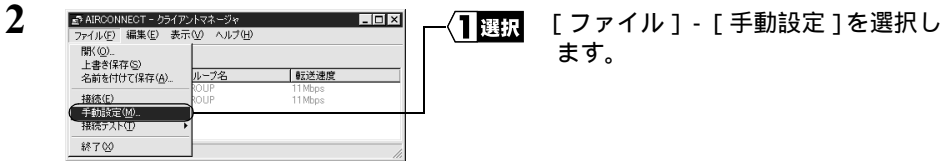
無線 LAN パソコンの設定

1 無線 LAN パソコンから［スタート］－［プログラム］－［MELCO AIRCONNECT］－［クライアントマネージャ］を選択します。

⇒ 次ページへ続く

2

1 選択　**［ファイル］－［手動設定］を選択します。**

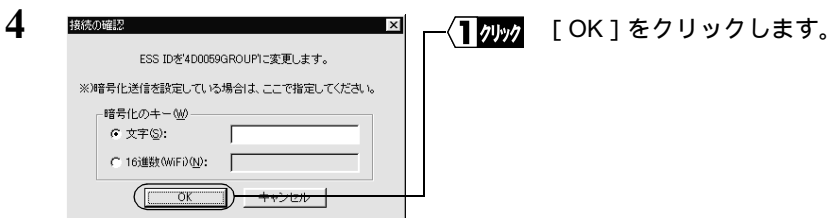
3

1 入力　**「AirStation の設定」（P71）の手順 3 の ESS-ID の設定によって、以下の設定内容が異なります。**
該当する項目に従って設定します。

《「グループ名、MAC アドレス、無線ローミング設定から生成」を選択した場合》
ESS-ID：
　「"000000" ＋グループ名」を入力します。
通信モード：
　「エアステーション経由通信（11Mbps）」を選択します。

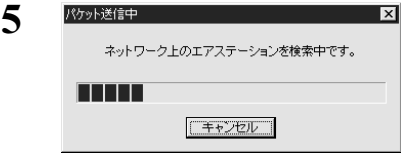
《「値を入力」を選択して、ESS-ID を入力した場合》
ESS-ID：
　AirStation に設定した ESS-ID を入力します。
通信モード：
　「エアステーション経由通信（11Mbps）」を選択します。

2 クリック　**［OK］をクリックします。**

4

1 クリック　**［OK］をクリックします。**

WEP による暗号化の設定をおこなっているときは、「暗号化のキー」欄にキーを入力してください。

⇒ 次ページへ続く

5

ESS-ID の変更後、AirStation の検索が始まります。

6

AirStation が接続できたことを確認してください。

メモ **ローミングで通信可能な AirStation には、アンテナマーク（ ）が表示されます。**

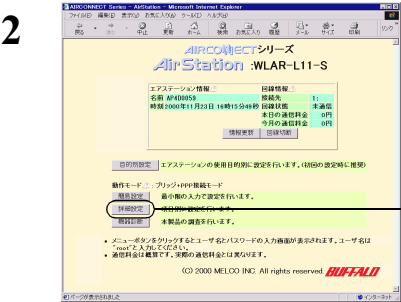
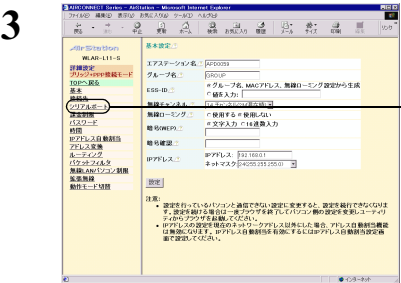
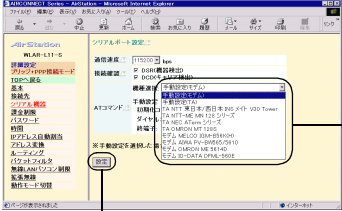
■ 設定画面のシリアルポートの機種選択一覧にお使いのモデム／TA がない場合

設定画面でシリアルポートの機種選択をするとき、お使いのモデム／TA が一覧にない場合は、そのモデム／TA の AT コマンドを手動で設定します。

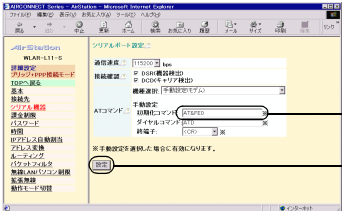
1 **「AirStation の設定画面を表示する」（P66）**を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック **［詳細設定］をクリックします。**

3

1 選択 **「シリアルポート」を選択します。**

⇒ 次ページへ続く

4

1 選択　「機種選択」欄で、お使いのモデム／TA を選択します。
モデムの場合：
　「手動設定（モデム）」を選択します。
TA の場合：
　「手動設定（TA)」を選択します。

2 クリック　［設定］をクリックします。

5 「設定を完了しました」と表示されたら、［戻る］をクリックします。

6

1 入力　「初期化コマンド」欄に、お使いのモデム／ TA の初期化コマンドを入力します。

2 クリック　［設定］をクリックします。

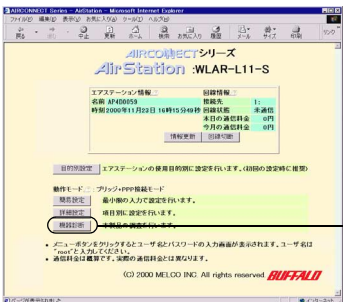
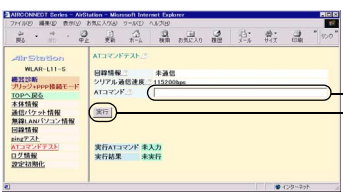
初期化コマンドとして入力するのは、以下の AT コマンドです。

モデム／ TA ともに入力：

1. **エコーバック** OFF**（例：**E0**）**
2. CD **信号の制御－通信時は常に** ON**（例：**&C1**）**
3. ER **信号の制御－パソコン（**AirStation**）の通信信号に従う（例：**&D2**）**
4. **リザルトコードを返す（例：**Q0**）**
5. **リザルトコードを英数文字で返す（例：**V1**）**
6. **リザルトコードセット－拡張コードセット**

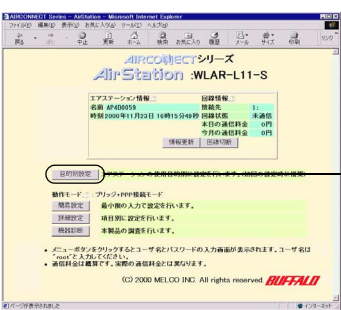
モデムのみ入力：

7. **自動着信しない（例：**S0=0**）**

※ 入力する初期化コマンドについて詳しくは、お使いのモデム／ TA のマニュアルを参照するか、またはメーカに確認してください。

メモ　初期化コマンドが 1 行に入力しきれない場合や、特殊な AT コマンドを入力する場合は、以下の手順で AT コマンドを入力してください。

1 「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック　[機器診断]をクリックします。

3 ［AT コマンドテスト］をクリックします。

4

1 入力　お使いのモデム／ TA のマニュアルを参照して、AT コマンドを入力します。

2 クリック　[実行] をクリックします。

■　有線 LAN と無線 LAN のネットワークを分けて、有線 LAN －無線 LAN 間の通信をする

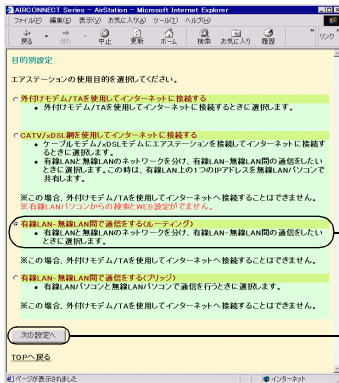
有線 LAN と無線 LAN のネットワークをルーティング機能で分けて、有線 LAN －無線 LAN 間で通信をする場合は、以下の手順で AirStation の設定をおこないます。

1 「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

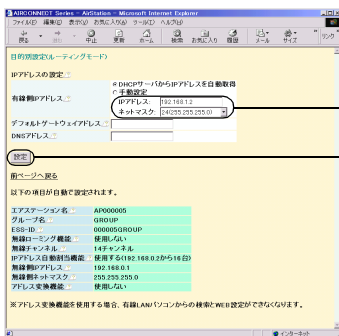
2

1 クリック　［目的別設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

3

［有線 LAN －無線 LAN 間で通信をする（ルーティング)］を選択します。

［次の設定へ］をクリックします。

4

有線側の IP アドレスを入力します。

［設定］をクリックします。

5 **「設定を完了しました」と表示されます。**
WEB **ブラウザを閉じます。**

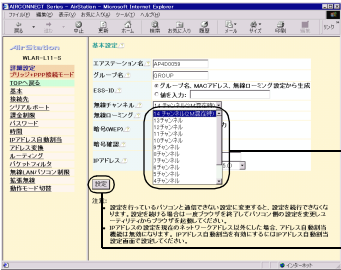
■　AirMac 対応パソコンから AirStation に接続する

AirMac 対応パソコンと Windows パソコンでファイル共有するには、ファイル共有をサポートするソフトウェア（例：ウィニングラン・ソフトウェア株式会社製 DAVE 等）を使う方法があります。

メモ　共有させる設定方法については、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルを参照してください。

AirMac 対応パソコンから AirStation に接続するには、以下の手順でおこないます。

メモ　作業をおこなう前に、AirMac 対応パソコンに AirMac ソフトウェアをインストールして、AirMac が使用できることを確認してください（インストール手順は、AirMac 添付のマニュアルを参照してください）。

1　設定用パソコン（Windows パソコン）から AirStation の設定画面を表示します。

参照　「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照してください。

2　［詳細設定］をクリックします。

3　「暗号（WEP）」欄が空欄になっていることを確認します。

「暗号（WEP）」欄が入力されている場合は空欄にしてください。

4

1 選択　**「無線チャンネル」欄を「1 チャンネル」～「13 チャンネル」のいずれかに変更します。**

2 クリック　**［設定］をクリックします。**

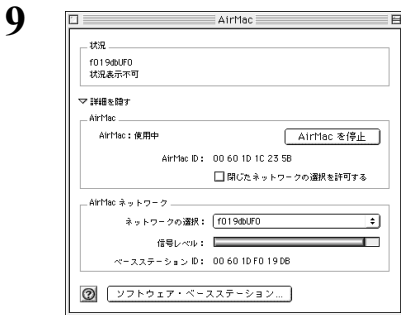
5　「設定を完了しました」と表示されます。
「戻る」をクリックします。

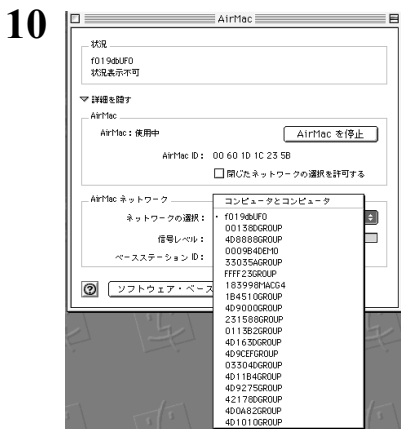
6　左上にある「TOP へ戻る」をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

7　**［機器診断］をクリックします。**

8　**「ESS-ID」欄に表示されている、AirStation の ESS-ID をメモします。**

9

AirMac 対応パソコンを起動して、「メニューバー／アップルメニュー」－「AirMac」を選択します。AirMac の設定ツールが起動します。

10

「AirMac ネットワーク」の「ネットワークの選択」欄のプルダウンメニューから、手順 8 で確認した AirStation の ESS-ID を選択します。

2.2 セキュリティを強化する

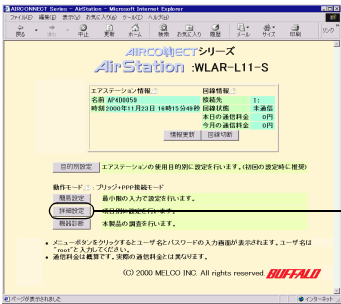
■ 無線 LAN パソコンからの接続を制限する

無線 LAN パソコンから AirStation への接続を制限するには、以下の手順で設定をおこなってください。

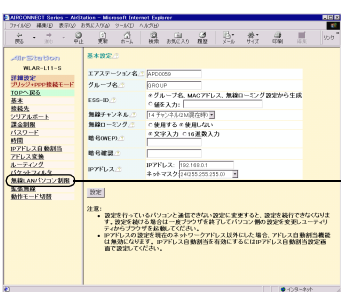
この設定をおこなうと登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

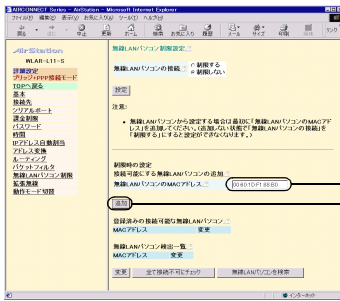
1 **「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック

「無線 LAN パソコン制限」をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

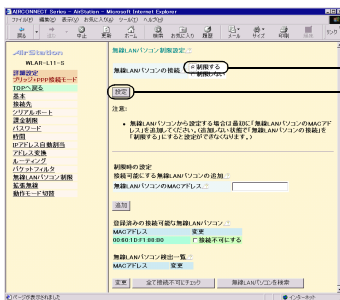
4

1 入力　**「無線LANパソコンのMACアドレス」欄に接続可能にする無線 LAN パソコンの MAC アドレスを入力します。**

2 クリック　**［追加］をクリックします。**

- 無線 LAN パソコンの MAC アドレスは、無線 LAN パソコンに添付のマニュアルを参照してください。
- MAC アドレスを入力するときは、2 桁ずつコロン（:）で区切って入力してください。
- 「無線 LAN パソコン検出一覧」に、接続可能にしたい無線 LAN カードが表示されているときは、該当する MAC アドレスの「接続可能にする」をチェックして、［変更］をクリックしてください。

5 **「MAC アドレスを追加しました」と表示されたら、［戻る］をクリックします。「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」欄に、追加した MAC アドレスが表示されます。**

登録できる MAC アドレスは 256 個までです。

6

1 選択　**「無線 LAN パソコンの接続」欄で「制限する」を選択します。**

2 クリック　**［設定］をクリックします。**

無線 LAN パソコンから設定をおこなう場合は、「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」に無線 LAN パソコンが登録されていることを確認してから、［設定］をクリックしてください。
登録する前に設定を行った場合は、「AirStation の設定を出荷時設定に戻す」（P102）を参照して出荷時設定に戻してください。

⇒ 次ページへ続く

7 **「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。**

以上で、「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」欄に登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

メモ **登録した MAC アドレスのパソコンを使用不可するときは**
「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」欄で、該当する MAC アドレスの「接続不可にする」をチェックして、［変更］をクリックします。

■ WEP（暗号化）機能でセキュリティを強化する

WEP 機能で無線パケットを暗号化することにより、外部からの無線パケット解析を防ぎます。以下の手順で AirStation を設定します。

メモ
- **WEP 機能を使って AirStation と通信できる無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。**
- **WEP を設定した場合は、弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）や Macintosh ※と通信することができません。**
  ※ AirMac の WEP 機能とは互換性がありません。

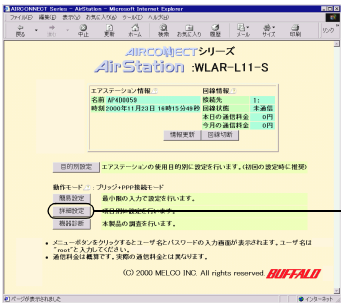
⚠注意 **WEP（暗号化）機能の設定は、必ず有線 LAN 上のパソコンからおこなってください。無線 LAN パソコンから設定すると、AirStation に接続できなくなります。もし無線 LAN パソコンから設定してしまった場合は、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章 困ったときは」の「無線 LAN パソコンから設定後、AirStation に接続できなくなった」を参照してください。**

1 **「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック **［詳細設定］をクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

3

1. 「暗号（WEP)」欄に暗号キーを入力します。
2. 「暗号確認」欄にも再度同じ文字列を入力します。
3. ［設定］ボタンをクリックします。

暗号キーは「文字入力」(5文字)と「16進数入力」(10桁)を選択することができます。文字入力を選択した場合、暗号キーは半角英数字またはアンダーバー ”_” を含む5桁の文字列で入力してください。

4 **「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。**

メモ

WEP を設定したときは、クライアントマネージャから AirStation へ接続する際に、手順 3 で設定した暗号キーを「暗号化のキー」に入力します。
（暗号キーを入力しない場合は、AirStation と通信することができません）

■　複数の AirStation をグループ分けする

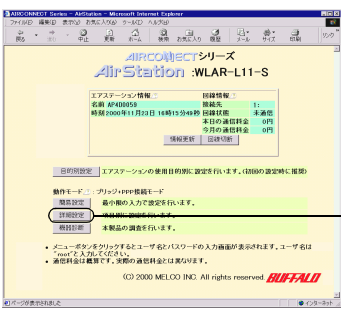
同じフロアに AirStation が複数台ある環境において無線 LAN パソコンが通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、それぞれの AirStation が同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワークが、異なる周波数（無線チャンネル）を使用するように設定（グループ分け）することで、他の無線 LAN ネットワークに影響を与えることなく通信できます。

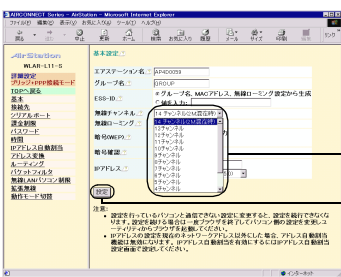
無線チャンネルを変更してグループ分けをする場合は、以下の手順でおこないます。

1 **「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

⇒ 次ページへ続く

2　もっと使える便利な機能

2

1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

3

1 選択 「無線チャンネル」欄で、AirStationに設定する無線チャンネルを選択します。

2 クリック ［設定］ボタンをクリックします。

4 「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。

メモ

- 隣り合ったチャンネルなど近い周波数では、互いに干渉してしまうことがあります。干渉しないようにするには、4 チャンネル以上間隔をあけてチャンネルを設定してください（無線チャンネルを変更して使用する場合、他の無線設備と電波干渉をおこすことがあります）。
- 弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）を装着したパソコンと通信するときは、無線チャンネルを必ず「14 チャンネル」に設定してください。
- AirMac 対応パソコンと通信するときは、無線チャンネルを「1 チャンネル」～「13 チャンネル」に設定してください（弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）を装着したパソコンと AirMac 対応パソコンは同時に通信できません）。

2.3 経済的に使いこなす

■ 課金制限設定を変更する

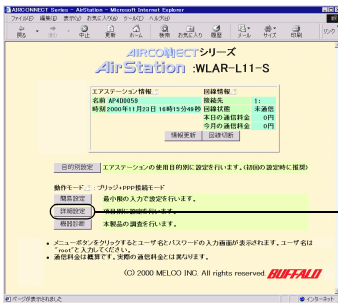
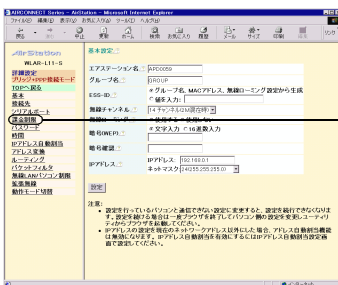
⚠注意　課金制限機能は、一定期間内における通信料金の上限を設定し、通信料金が上限を超えると、自動的に通信を切断する機能です。AirStation をご使用になる上で、不適切な設定をおこなうと、予想以上の通信料金が発生する可能性があります。このような過剰な課金を防ぐために、必ず、課金制限機能を有効にしてください。

AirStation には、出荷時設定で過剰な課金の発生を抑えるように設定されています。課金制限設定を変更する場合は、それぞれの設定項目の内容（手順 **4** で説明）をご理解の上、以下の手順で設定値を調整してください。

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック　**［詳細設定］をクリックします。**

3

1 クリック　**「課金設定」をクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

4

1 入力　**課金設定を変更します。**

1 日毎の課金制限：
　1 日に使用できる通信料金の上限を設定します。
1 日毎の課金リセット時間：
　1 日毎の通信料金の計算をリセットする時間を設定します。
1ヶ月毎の課金制限：
　1ヶ月に使用できる通信料金の上限を設定します。
1ヶ月毎の課金リセット日：
　1ヶ月毎の通信料金の計算をリセットする日付を設定します。
金額換算：
　通信料金の計算時に使用する換算値を入力します。10 円あたりの通信時間を入力します。
テレホーダイ時間：
　テレホーダイ時の自動切断時間を適用する時間を設定します。

2 クリック　**［設定］をクリックします。**

5　**以後は画面の指示に従ってください。**

メモ　**課金金額は、通信時間と金額換算により計算されます。従って、実際の通信料金と異なることがあります。**

⚠注意　**課金制限について**

MP 接続を設定している場合、リソース BOD、スループット BOD の設定により 1 チャンネル・2 チャンネルが自動的に切り替わりますが、常に 2 チャンネル利用しているとみなして通話料金を 2 倍に計算しています。そのため、実際の通信料金よりも多めに計算されることをご了承ください。
なお、通信料金はすべて AirStation 内部で計算しておりますので、実際の NTT 料金とは異なります。

■　電話回線の自動切断時間を変更する

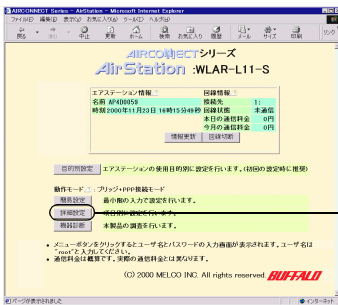
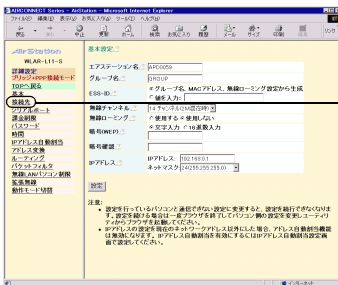
インターネットへ接続中は、無通信時間が 150 秒間（出荷時設定）続くと、自動的に電話回線が切れるように設定されています。自動的に電話回線が切断されるまでの時間を変更する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

メモ　**AirStation は、無通信時間が 150 秒間（出荷時設定）以内でも、通信時間が連続 8 時間（出荷時設定）を超えると強制的に回線を切断します。**

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック　**［詳細設定］をクリックします。**

3

1 クリック　**「接続先」をクリックします。**

⇒ **次ページへ続く**

4

1 入力　「自動切断時間」欄に自動切断時間を入力します。

2 クリック　［設定］をクリックします。

5　**以後は画面の指示に従ってください。**

⚠注意　**「自動切断の監視パケット」欄を「送信のみ」（出荷時設定）に設定していると、無線 LAN ／有線 LAN パソコンから回線側への送信パケットがなく、回線側から一方的にパケットを受信し続けるような場合、通信途中に回線が切断されることがあります。この場合は、「送信と受信」に設定を変更してください。**
ただし、パケットフィルタの設定で「ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ」が有効の場合に、「自動切断の監視パケット」欄を「送信と受信」に設定すると、ブラウザによって自動切断時間が設定した時間より約 2 分長くなることがあります。

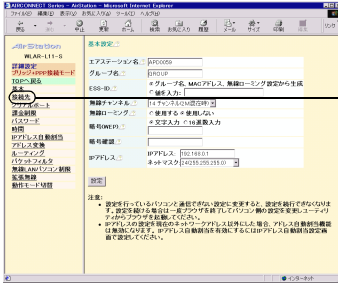
■　テレホーダイをお使いの場合の設定例

AirStationでは、テレホーダイ時間内の回線切断時間を、個別に設定することができます。以下の手順で設定します。

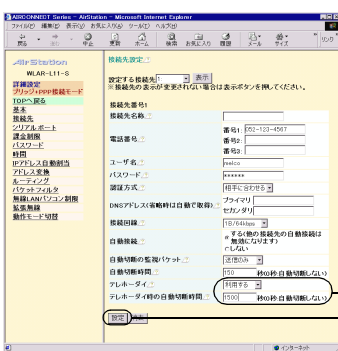
1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

⇒ 次ページへ続く

3

1 クリック

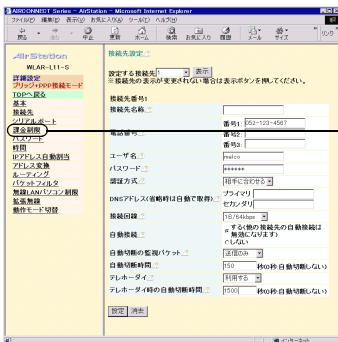
「接続先」をクリックします。

4

1 入力

以下の設定をします。
テレホーダイ：
　「利用する」
テレホーダイ時の自動切断時間：
　切断時間を入力します。
　（出荷時設定：1500 秒）
　（0〜86400秒まで設定できます）

2 クリック

［設定］ボタンをクリックします。

5 「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。

6

1 クリック

「課金設定」をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

2
もっと使える便利な機能

7

1 選択 手順4で設定した「テレホーダイ時の自動切断時間」を適用する時間を「テレホーダイ時間」欄に設定します。
（出荷時設定：「23」:「00」～「7」:「59」）

2 クリック ［設定］をクリックします。

8 「設定を完了しました」と表示されたら、「戻る」をクリックします。

以上で、設定完了です。

2.4 各種設定の変更と確認

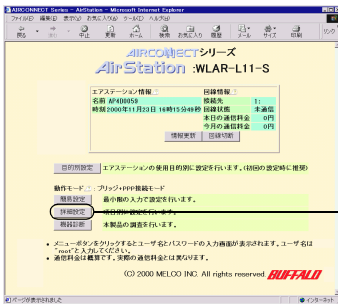
■ 設定画面のパスワードを設定する

AirStation の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。

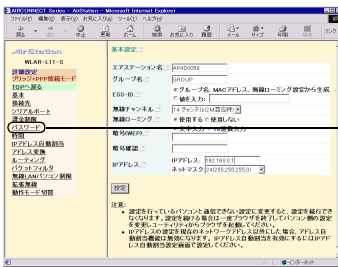
1 「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

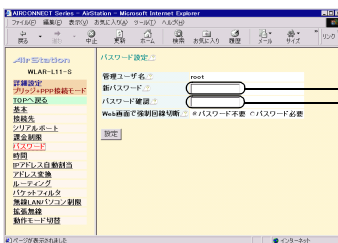
1 クリック

[詳細設定] をクリックします。

3

1 クリック

[パスワード] をクリックします。

4

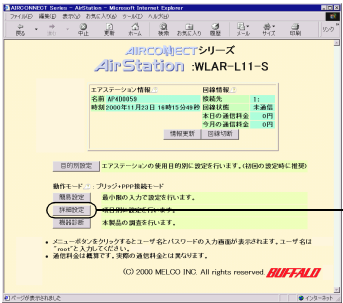
1 入力

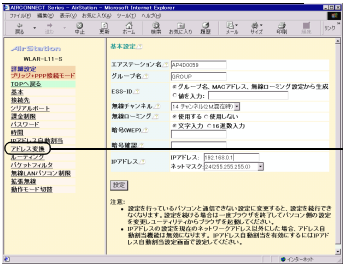
「新パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

2 入力

「パスワード確認」欄に再度パスワードを入力します。

⇒ 次ページへ続く

2 もっと使える便利な機能

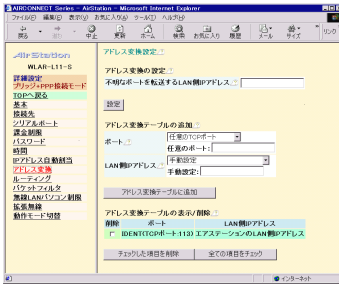
メモ パスワードとして入力できるのは、半角英数字と "_"（アンダーバー）の組み合わせで、最大 8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。
パスワードを忘れてしまった場合は、AirStation 背面の工場出荷設定スイッチを押すと、出荷時のパスワードに戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。
工場出荷設定スイッチについては、「各部の名称とはたらき」（P7）を参照してください。

■ NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなう

各種 NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなうには、以下の手順をおこないます。

1 「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2 1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

3 1 クリック ［アドレス変換］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4　**この画面で各種 NAT（アドレス変換）機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。**

- **不明なポートを転送する LAN 側 IP アドレス**

  インターネット側から不明なポートのデータが送られてきた場合に、そのデータを転送する LAN 側のパソコンの IP アドレスを設定します。従来、IP マスカレード機能を使用した場合には利用できなかった、ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションなどが使用できます。なお、アドレス変換テーブルに設定した場合は、そちらの設定が優先されます。

  ⚠注意　**この設定をした場合、インターネットを通じて外部からパソコンに不正アクセスされる危険があります。通常は設定しないでください。**

  メモ　**この機能の動作確認済みアプリケーションについては、弊社ホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。**

- **アドレス変換テーブルの追加機能**

  各種サーバ（WWW サーバ、FTP サーバ等）の公開が可能とする機能で、ネットワークゲーム等のインターネット対応アプリケーションが使用できるようになります。ポートの種類、ポート番号、LAN 側 IP アドレスの組み合わせにより、最大 32 種類の組み合わせを設定することができます。例えば WWW（HTTP）サーバの公開の場合は、ポート 80 番宛のインターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送するよう設定することによって実現できます。ただし、サーバの公開には一般的に固定グローバル IP アドレスの取得が必要となります。ご注意ください。

  メモ　**この機能の動作確認済みアプリケーションについては、弊社ホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。**

2
もっと使える便利な機能

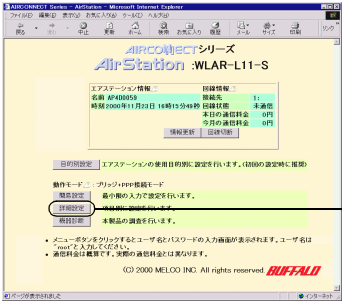
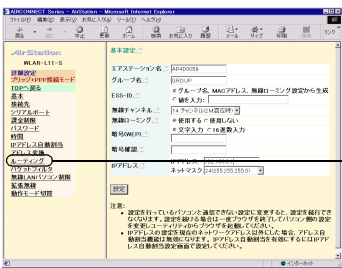
■　ルーティング機能の設定をおこなう

以下の設定で、各種ルーティング機能の設定ができます。

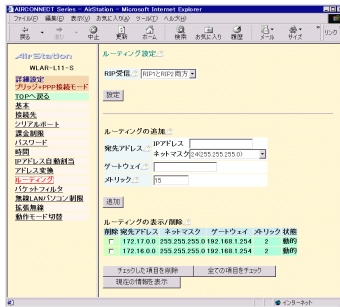
1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

［詳細設定］をクリックします。

3

［ルーティング］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

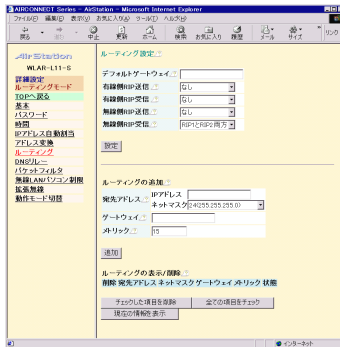
4　**この画面で各種ルーティング機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。**

《ブリッジ +PPP 接続モード／ブリッジモード》

- **RIP 受信**

  RIP は、ルータ間で自動的にルーティングテーブル情報を交換するプロトコルです。

- **ルーティングの追加**

  ルーティングテーブルを手動で追加することができます。

《ルーティングモード》

- **デフォルトゲートウェイ**

  AirStation に設定されていないパケットの、宛先ルータを設定します。DHCP サーバからデフォルトゲートウェイを自動的に取得する設定になっている場合でも、この項目で手動設定したデフォルトゲートウェイの方が優先されます。

- **有線側 RIP 送信、有線側 RIP 受信、無線側 RIP 送信、無線側 RIP 受信**

  RIP は、ルータ間で自動的にルーティングテーブル情報を交換するプロトコルです。

- **ルーティングの追加**

  ルーティングテーブルを手動で追加することができます。

■ 無線 LAN カードのドライバをバージョンアップする

すでに弊社製無線 LAN カード（WLI-PCM-L11 ／ WLI-PCM）を使ってネットワークを構築されている方で、弊社 AirStation を使用する方は、以下の手順で無線 LAN カードのドライバを再インストールしてください。

無線 LAN カードドライバの再インストール

以下のインストール手順を参照して、ドライバを再インストールします。

「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使用してドライバをインストールした場合は、再インストールする必要はありません。

1 お使いの Windows に応じて以下を参照して、無線 LAN カードのドライバを削除してください。

Windows Me/98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「インストール画面が表示されない」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「クライアントマネージャを起動したときにエラーメッセージが表示される」

2 お使いの Windows に応じて以下を参照して、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。

Windows Me の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　Windows Me 編」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」

Windows98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　Windows98/95 編」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　Windows2000/NT4.0 編」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」

■　パケットフィルタの設定例

パケットフィルタの設定で、以下の 5 つの設定を変更することができます。

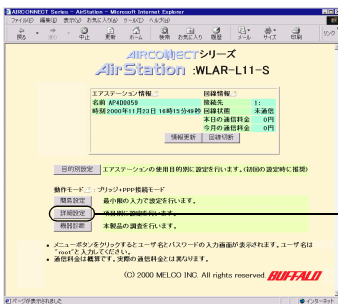
- LAN 側からインターネット側へのフィルタを手動で設定する
- 無線 LAN からの設定を禁止する
- 有線 LAN からの設定を禁止する
- ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ
- NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する

設定手順は以下の通りです。

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック

［詳細設定］をクリックします。

3

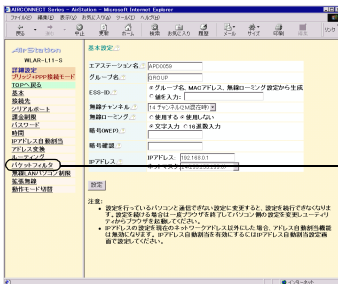
1 クリック

「パケットフィルタ」をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4

1 選択　「フィルタの設定」欄から、設定する項目を選択します。

2 クリック　［ルールを追加］をクリックします。

《「LAN 側からインターネット側へのフィルタを手動設定」を選択した場合》

1 入力　以下の項目も入力します。

送信元 IP アドレス　：通信パケットを通さない送信元IP アドレスを入力します。

メモ　**連続した IP アドレスを指定することもできます。**
例：192.168.0.5-192.168.0.10

送信元ポート　：通信パケットを通さない送信元ポートを入力します。「任意の TCP ポート」および「任意の UDP ポート」を選択した場合は、「任意のポート」欄にポート番号を入力してください。

メモ　**連続したポートを指定することもできます。**
例：2000-3000

ログ出力　：パケットを検出したときにログへ出力するかどうか設定します。

5　**「パケットフィルタを登録しました」と表示されます。**
［戻る］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

6

追加したパケットフィルタが表示されます。

以上で設定完了です。

■　IP アドレス自動割当機能（DHCP サーバ）の設定例

以下の場合の設定例を説明します。

DHCP サーバ機能で割り当てるアドレス

　192.168.0.5 ～ 192.168.0.20

上記の IP アドレスのうち除外するアドレス

　192.168.0.17

⚠注意　**DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスは、AirStation の IP アドレスと同じネットワークアドレスとなるように設定してください。**

1　**「AirStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。**

2

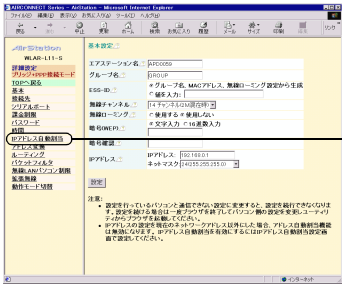
クリック

［詳細設定］をクリックします。

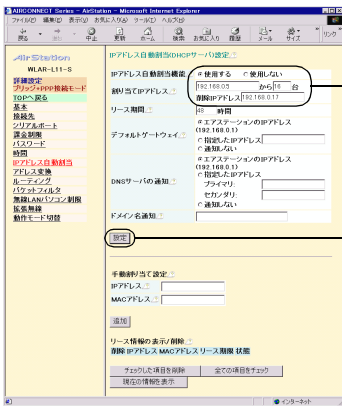
⇒ 次ページへ続く

2

もっと使える便利な機能

3

1 クリック

「IP アドレス自動割当」をクリックします。

4

1 入力

以下の設定を入力します。
IP アドレス自動割当機能：
「使用する」
割り当て IP アドレス：
「192.168.0.5」から「16」台
削除 IP アドレス：
「192.168.0.17」

2 クリック

「設定」をクリックします。

AirStation を使用してインターネットに接続する場合は、以下の項目も設定します。

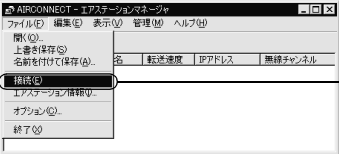
デフォルトゲートウェイ　：「エアステーションの IP アドレス」
DNS サーバの通知　　　　：「エアステーションの IP アドレス」

メモ　**実際に割り当てることができる IP アドレス数は、削除した IP アドレスの数だけ減少します。**

以上で設定完了です。

■　AirStation の IP アドレスを確認する

以下の手順で AirStation の IP アドレスを確認できます。

1　**お使いの Windows に応じて以下を参照して、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。**

Windows Me/98/95 の場合：

「第 1 章　有線 LAN と無線 LAN 間で通信する」の「Windows Me/98/95 編」の「Step 2　エアステーションマネージャをインストールする」（P24）

Windows2000/ NT4.0 の場合：

「第 1 章　有線 LAN と無線 LAN 間で通信する」の「Windows2000/NT4.0 編」の「Step 2　エアステーションマネージャをインストールする」（P47）

2　**［スタート］－［プログラム］－［MELCO　AirStation］－［エアステーションマネージャ］を選択します。**

3

［ファイル］－［接続］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いのときは、［編集］－［エアステーション検索］をおこなったあと、手順 5 へ進みます。

4

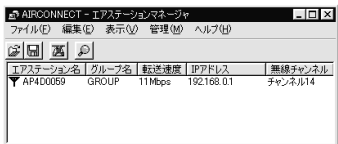
以下の値を入力します。
MAC アドレス：
AirStation の MAC アドレスの下 6 桁
グループ名：
「GROUP（大文字）」

［OK］をクリックします。

ESS-ID を直接入力するときは、「ESS-ID の入力」をチェックして、ESS-ID を入力します。

▶参照　**AirStation の MAC アドレスは、AirStation 本体に貼り付けてあります。「各部の名称とはたらき」（P7）を参照して確認してください。**

⇒ 次ページへ続く

5

［OK］**をクリックします。**

WEP による暗号化の設定をしているときは、「暗号化キー」にパスワードを入力してください。

6

AirStation **の検索が始まります。**

7

「IP **アドレス」欄に、**AirStation **の** IP **アドレスが表示されます。**

■ AirStation の設定を出荷時設定に戻す

メモ　**以下の手順により、**AirStation **の無線** LAN **の設定のみ出荷時設定に戻ります。**

1 AirStation **が動作していることを確認します。**

2 AirStation **の背面にある工場出荷設定スイッチを** 3 **秒以上押し続け、**DIAG **ランプが点灯したらスイッチを離します。**DIAG **ランプが消灯すると、出荷時設定にリセットされます。**

メモ　**工場出荷設定スイッチについては、「各部の名称とはたらき」**（P7）**を参照してください。**

■　電波状態を確認する

無線 LAN パソコンと AirStation 間の電波状態を確認するときは、以下の手順でおこなってください。

1　**無線** LAN **パソコンから、[スタート] − [プログラム] − [**MELCO AIRCONNECT**] − [クライアントマネージャ] を選択します。**

2　**[ファイル] − [接続テスト] − [診断] を選択します。**

アンテナマーク（▼）のついている AirStation の接続テストをおこないます。

3　**接続状態を確認してください。**

4　**接続テスト結果が表示されます。接続テストの結果の説明は、次ページを参照してください。**

⇒ 次ページへ続く

接続状態		**電波状態**	
	最適		**最適**
	良好		**良好**
	悪い		**問題あり**
	最悪		**悪い**
		圏外	**通信不可**

接続テストの結果、接続状態と電波状態の結果を総合的に判断して診断結果が表示されます。

良好：総合的に問題ありません。　**不適：**不安定な状態であることを示します。

診断結果が不適の場合は、以下の対策を試みてください。

1. 無線 LAN パソコンを AirStation に近づけます。（ただし、30cm 以内に近づけないでください）
2. AirStation の位置を変更します。
3. AirStation と無線 LAN パソコン間の見通しをよくします。
4. AirStation、無線 LAN パソコンの近くに電子レンジ等の電波発生源がないことを確認します。

2.5 自己診断機能

AirStation は、電源 ON 時または再起動時に、自己診断する機能を持っています。

異常が発生したときは、DIAG ランプの点滅回数で、エラー内容を特定できます。DIAG ランプの点滅は、電源 OFF 時または再起動時まで、繰り返しおこなわれます。

⚠注意　**DIAG ランプは、データの書き込み中も点灯します。データの書き込み中は、絶対に AC アダプタの抜き差しをおこなわないでください。**
※ データの書き込みは、設定時とファームウェア更新時におこなわれます。

■ DIAG ランプ点滅時のエラー内容

点滅回数	状態	説明
1 回	RAM チェック異常	内部メモリの読み書きができません。
2 回	ROM チェック異常	フラッシュ ROM の読み書きができません。
3 回	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが故障しています。
4 回	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが故障しています。
5 回	時計異常	時計が正常に設定されていません。または、時計の電池が切れている恐れがあります。
6 回	シリアル異常	外付け TA ／モデムからの応答がありません。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、設定画面で正しく TA ／モデムが選択されているか確認してください。
9 回	上記以外の異常	

上記のエラーが表示されたときは、一度、AC アダプタをコンセントから抜き差ししてください。抜き差ししてもエラー（シリアル異常［6 回］を除く）が表示されるときは、弊社修理センター宛に AirStation を直接お送りください。